

学士課程教育の多様性と
高等教育版“学びのイノベーション”促進の必要性
私大協付置 私学高等教育研究所
「第2回 学士課程教育の改革状況と現状認識に関する調査」
2011より

中教審・大学教育部会(2011/09/26)

関西国際大学 濱名 篤

1. ディプロマポリシーをめぐる現状

目標自体に設定は順調に進んでいると”認識“されている
but 目標設定の仕方による改革度の“差”は大きい(21枚
目以降の参考資料 参照)

課題としては

- **規模**やガバナンス・スタイルによる**違い**の大きさ(図1、2)→学部自治が強い大規模校
- **専門教育を重視**し、専門知識、特有な考え方・見方、技能・スキルに力点をおいた目標設定(図3)
→教養教育・共通教育への関心度の低さ
- 専門分野(や学生の学力)によって大きく異なる(表1)
→学士力を例示とする**汎用的な能力・スキル**、**教養と専門的内容のバランス**をどのように取っていくか
→専門分野ごとの主体的な質保証の取り組みの強化

学部・学科の教育・学習目標の設定

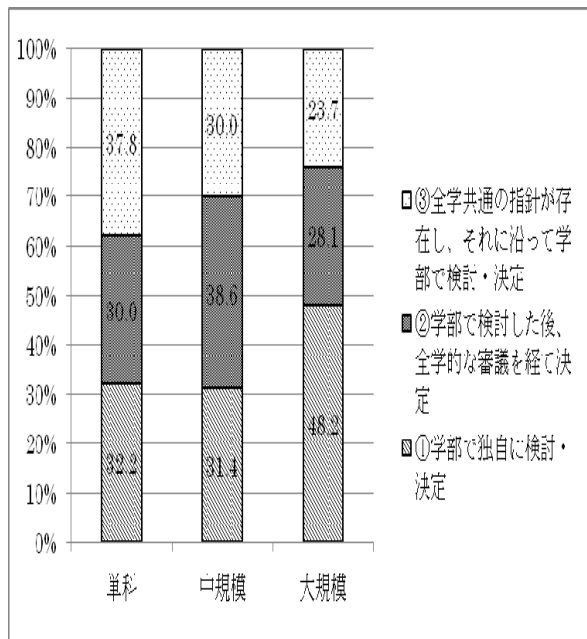


図1.学部 教育・学習目標の設定手続と大学規模

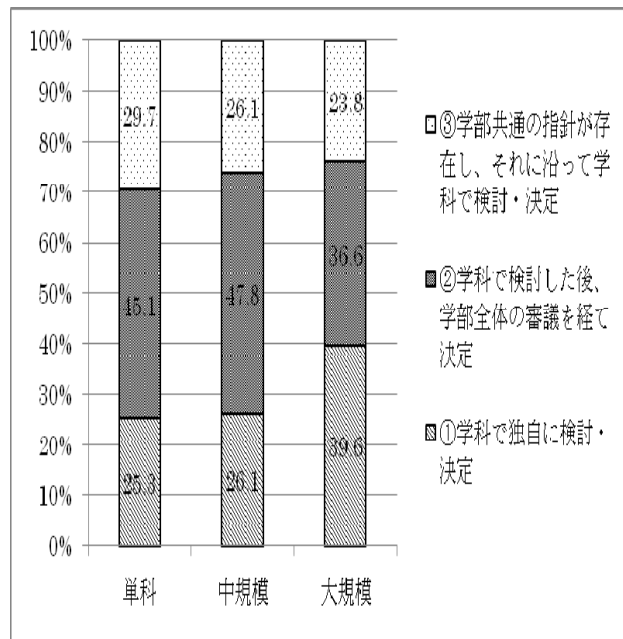


図2.学科の教育・学習目標の設定手続と大学規模

図3. 学科の教育・学習目標の内容(全体)

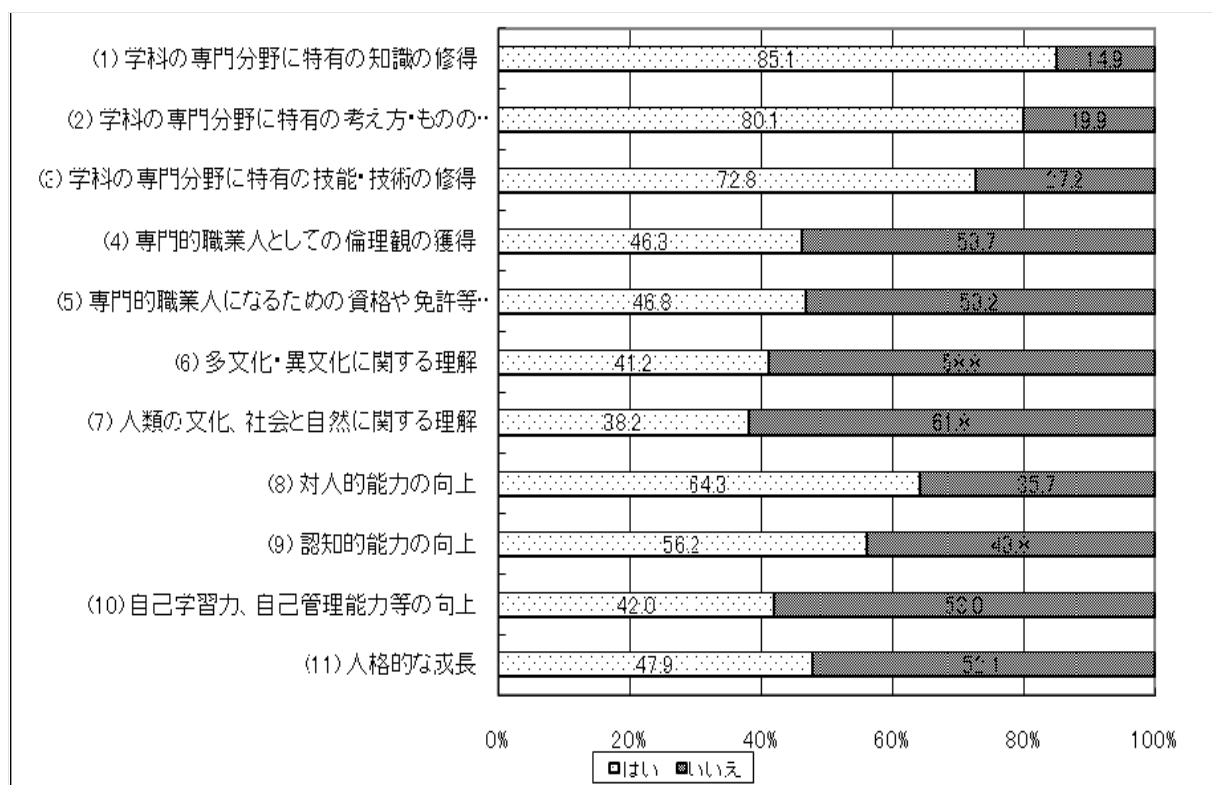


表1. 教育・学習目標の内容(専門分野別)

	人文	社会	教育	理学	工学	保健	家政	
(1)学科の専門分野に特有の知識の修得	86.5	74.7	80.7	84.4	91.1	91.7	94.6	***
(2)学科の専門分野に特有の考え方・ものの見方の修得	82.0	78.5	69.9	84.4	85.7	80.7	73.0	
(3)学科の専門分野に特有の技能・技術の修得	70.3	51.9	74.7	64.1	86.6	87.2	91.9	***
(4)専門的職業人としての倫理観の獲得	27.0	32.3	41.0	32.8	74.1	76.1	35.1	***
(5)専門的職業人になるための資格や免許等の取得	54.1	28.5	56.6	25.0	35.7	71.6	78.4	***
(6)多文化・異文化に関する理解	78.4	42.4	34.9	23.4	35.7	30.3	29.7	***
(7)人類の文化、社会と自然に関する理解	50.4	33.5	24.1	45.3	52.7	24.8	27.0	***
(8)対人的能力の向上	71.2	53.2	57.8	37.5	74.1	81.7	59.5	***
(9)認知的能力の向上	55.9	57.0	43.4	48.4	75.0	57.8	37.8	***
(10)自己学習力、自己管理能力等の向上	44.1	31.0	37.3	28.1	55.4	56.0	32.4	***
(11)人格的な成長	60.4	46.2	49.4	25.0	46.4	54.1	43.2	***

注: カイ二乗検定の結果、赤字=割合が高い項目、青字=割合が低い項目

5

*** p<.01

2. カリキュラムポリシーをめぐる現状と課題

- ・カリキュラムの構造化の在り方は分野差が極めて大きい(図4, 表2, 3)

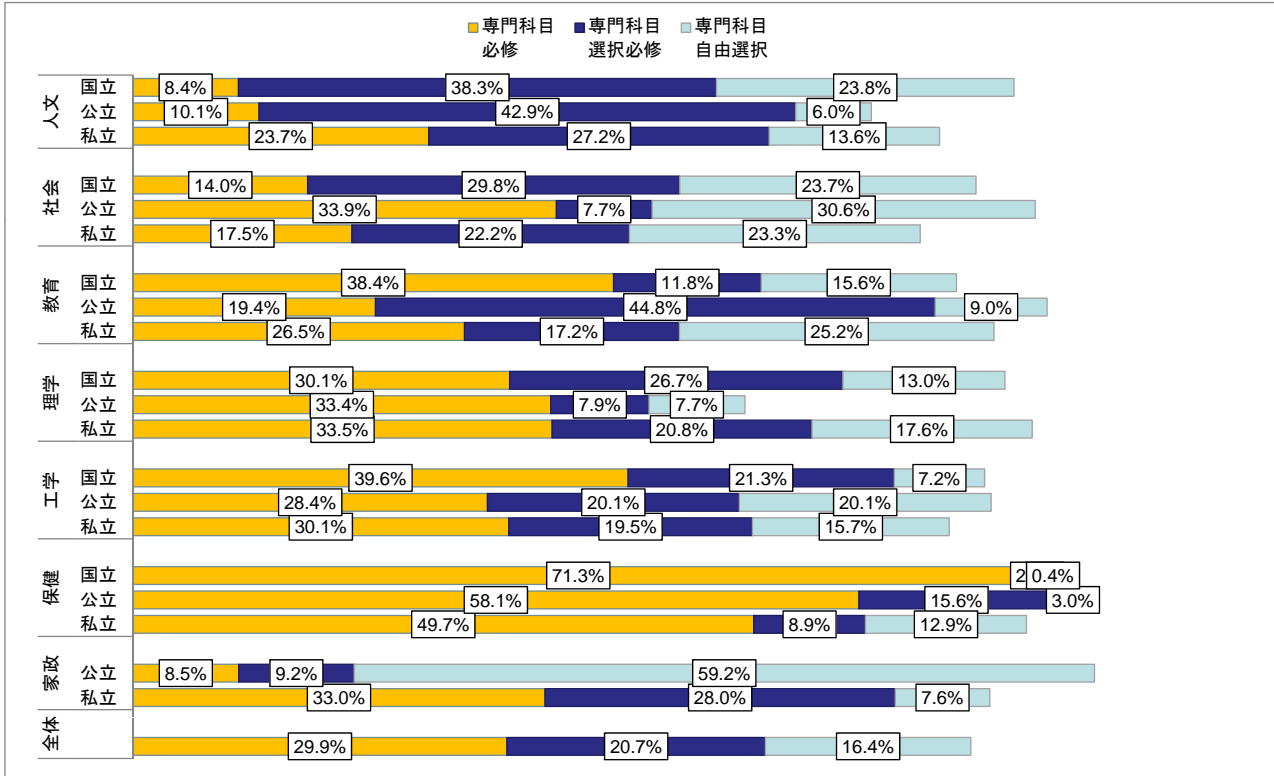
専門の比重、必修の割合、要卒単位数・教育課程

- ・カリキュラムの“志向性”の分極化(図5, 6)

専門一教養のウェイト, 専門教育のレベル設定
 →最終的には, 参照基準づくりから、分野別の認証評価の整備など、大学の主体的取り組みを検証していく

6

図4. 卒業要件に占める専門科目の比率
(設置形態別・専門分野別)



7

表2. 卒業要件における科目群ごとの比率(専門分野別)

専門領域	設置形態	専門科目 必修	専門科目 選択必修	専門科目 自由選択	共通科目 必修	共通科目 選択必修	共通科目 自由選択	その他 自由選択
全体		29.9%	20.7%	16.4%	9.9%	9.9%	6.6%	6.5%
家政	私立	33.0%	28.0%	7.6%	7.7%	10.3%	5.3%	8.2%
	公立	8.5%	9.2%	59.2%	10.8%	3.1%	9.2%	0.0%
保健	私立	49.7%	8.9%	12.9%	11.1%	7.8%	5.0%	4.7%
	公立	58.1%	15.6%	3.0%	10.2%	7.9%	5.2%	0.0%
	国立	71.3%	2.1%	0.4%	9.9%	11.9%	3.8%	0.6%
工学	私立	30.1%	19.5%	15.7%	11.9%	7.4%	8.0%	7.4%
	公立	28.4%	20.1%	20.1%	12.7%	6.0%	12.7%	0.0%
	国立	39.6%	21.3%	7.2%	12.1%	11.9%	6.5%	1.3%
理学	私立	33.5%	20.8%	17.6%	12.0%	8.2%	4.9%	3.0%
	公立	33.4%	7.9%	7.7%	16.2%	12.5%	22.4%	0.0%
	国立	30.1%	26.7%	13.0%	9.0%	9.1%	8.2%	3.9%
教育	私立	26.5%	17.2%	25.2%	9.5%	7.3%	7.0%	7.3%
	公立	19.4%	44.8%	9.0%	0.0%	24.6%	2.2%	0.0%
	国立	38.4%	11.8%	15.6%	20.0%	7.7%	4.6%	1.8%
社会	私立	17.5%	22.2%	23.3%	7.6%	9.5%	8.6%	11.3%
	公立	33.9%	7.7%	30.6%	12.9%	6.0%	8.9%	0.0%
	国立	14.0%	29.8%	23.7%	7.4%	17.8%	4.4%	3.0%
人文	私立	23.7%	27.2%	13.6%	8.5%	12.2%	5.0%	9.9%
	公立	10.1%	42.9%	6.0%	3.4%	17.1%	9.1%	11.3%
	国立	8.4%	38.3%	23.8%	11.5%	17.3%	0.8%	0.0%

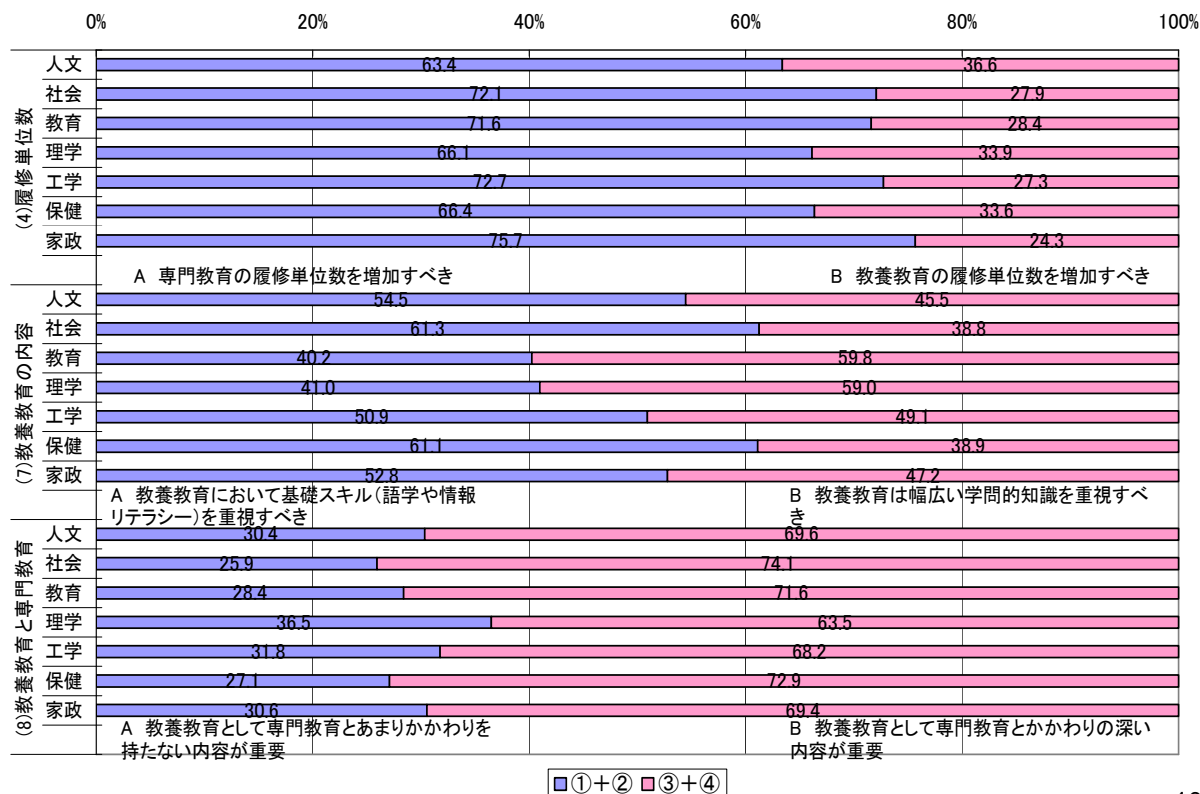
8

表3. 卒業要件単位数の内訳(設置形態・専門分野別)

設置形態	専門領域	専門科目 必修	専門科目 選択必修	専門科目 自由選択	共通科目 必修	共通科目 選択必修	共通科目 自由選択	その他 自由選択	卒業要件 単位数
国立	人文	11.0 (1.41)	50.0 (31.11)	31.0 (24.04)	15.0 (16.97)	22.5 (20.51)	2.0 (0.00)	0.0 (0.00)	130.5 (0.71)
	社会	16.5 (12.14)	46.4 (28.68)	41.8 (30.99)	15.7 (12.53)	27.3 (12.53)	12.6 (6.84)	12.7 (10.56)	128.9 (6.54)
	教育	54.3 (30.54)	26.1 (22.54)	27.5 (25.47)	28.2 (19.01)	15.3 (9.68)	16.2 (16.83)	5.7 (3.50)	129.3 (6.39)
	理学	37.5 (20.36)	37.4 (26.40)	23.6 (15.16)	16.6 (9.51)	17.9 (14.63)	24.4 (14.87)	9.25 (8.25)	124.9 (2.01)
	工学	52.7 (18.08)	26.9 (21.36)	14.5 (10.89)	17.0 (14.20)	16.7 (15.27)	15.2 (12.60)	4.1 (7.56)	127.0 (2.57)
	保健	91.9 (7.41)	4.4 (5.94)	4.0 (0.00)	17.0 (14.20)	17.571429 (11.22)	13.0 (2.65)	3.0 (4.24)	128.9 (4.94)
	家政	11.0 (0.00)	12.0 (0.00)	77.0 (0.00)	14.0 (0.00)	4.0 (0.00)	12.0 (0.00)	— (0.00)	130.0 (0.00)
公立	人文	16.6 (5.77)	53.3 (21.65)	10.0 (12.49)	5.7 (4.04)	21.3 (14.73)	15.0 (12.29)	18.7 (17.24)	124.0 (0.00)
	社会	42.0 (25.46)	19.0 (0.00)	38.0 (31.11)	16.0 (2.83)	15.0 (0.00)	22.0 (0.01)	— (0.00)	124.0 (0.00)
	教育	26.0 (0.00)	60.0 (0.00)	12.0 (0.00)	— (0.00)	33.0 (0.00)	3.0 (0.00)	— (0.00)	134.0 (0.00)
	理学	46.0 (11.3)	11.0 (15.56)	10.5 (9.19)	22.5 (16.26)	17.0 (18.38)	31.0 (9.90)	0.0 (0.00)	138.0 (2.83)
	工学	38.0 (14.14)	27.0 (38.18)	27.0 (38.18)	17.0 (1.41)	8.0 (11.31)	17.0 (24.04)	0.0 (0.00)	134.0 (0.00)
	保健	73.3 (30.03)	26.7 (32.71)	7.5 (4.95)	13.0 (12.81)	20.0 (8.49)	13.0 (9.90)	— (0.00)	126.5 (1.91)
	家政	11.0 (0.00)	12.0 (0.00)	77.0 (0.00)	14.0 (0.00)	4.0 (0.00)	12.0 (0.00)	— (0.00)	130.0 (0.00)
私立	人文	31.0 (15.28)	38.2 (19.72)	30.3 (26.08)	13.1 (9.08)	19.3 (10.24)	17.5 (14.21)	21.2 (12.26)	125.4 (2.48)
	社会	24.5 (17.98)	33.9 (24.36)	43.3 (21.26)	11.2 (7.65)	15.6 (13.04)	16.8 (8.42)	24.3 (25.40)	125.2 (2.47)
	教育	34.5 (24.05)	26.5 (24.13)	47.2 (23.19)	13.4 (11.68)	12.3 (7.48)	15.8 (11.58)	18.8 (10.93)	125.1 (2.49)
	理学	45.0 (20.81)	30.2 (24.47)	36.9 (20.19)	17.7 (13.54)	12.9 (9.20)	10.1 (6.88)	9.3 (10.33)	125.7 (3.69)
	工学	38.2 (19.56)	30.9 (24.90)	31.8 (22.84)	17.6 (14.28)	15.5 (15.17)	16.2 (10.74)	17.3 (11.54)	127.1 (3.64)
	保健	64.3 (33.39)	18.5 (17.28)	34.5 (31.25)	14.7 (13.49)	14.5 (11.52)	12.6 (9.90)	16.8 (18.90)	126.1 (3.25)
	家政	41.4 (33.79)	37.7 (25.86)	30.5 (25.65)	9.6 (6.83)	15.1 (10.09)	14.2 (5.31)	22.3 (26.73)	124.8 (2.24)
全体	39.3 (26.73)	32.0 (23.98)	34.0 (24.59)	14.5 (11.65)	16.8 (12.31)	15.5 (10.82)	17.1 (17.41)	126.2 (3.63)	

9

図5. カリキュラム(教養教育と専門教育)の今後に対する考え方①(専門分野別)



10

図6. カリキュラム(教養教育と専門教育)の今後に対する考え方②
(専門分野別)

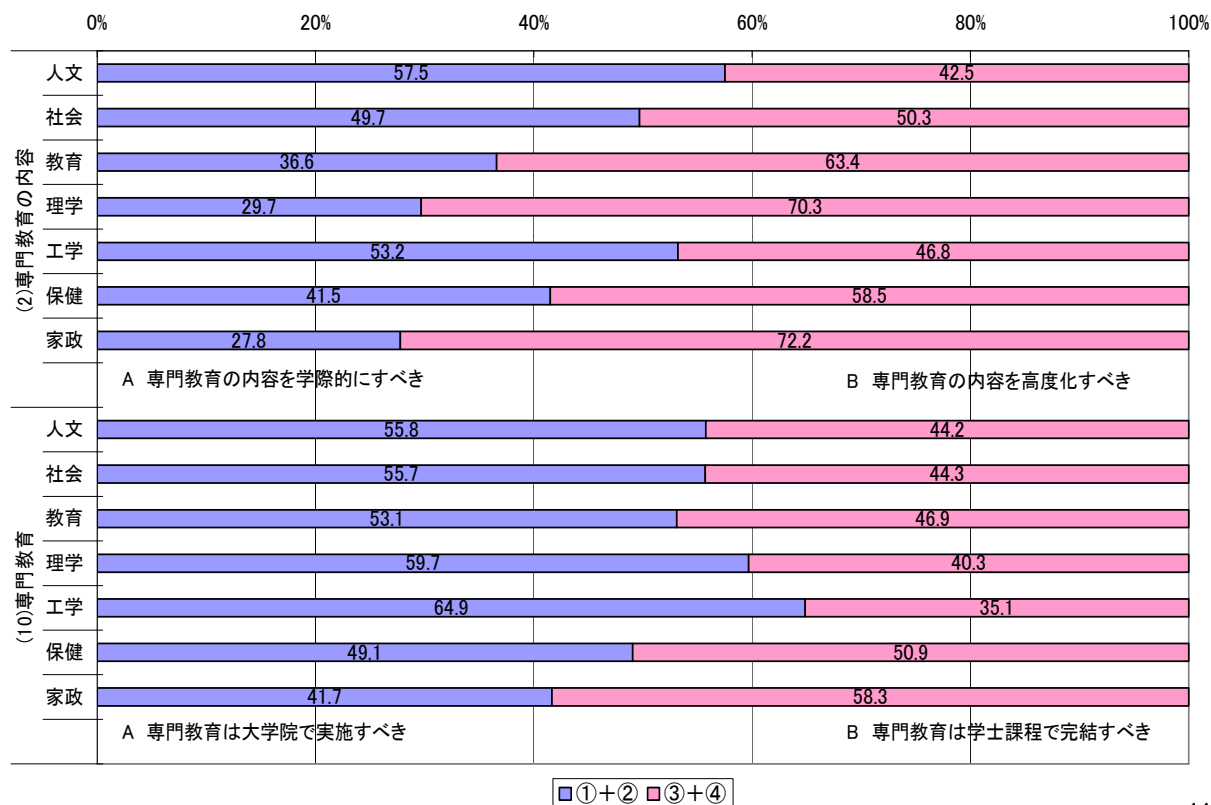


図7. カリキュラムの今後に対する考え方
(教養教育と専門教育)

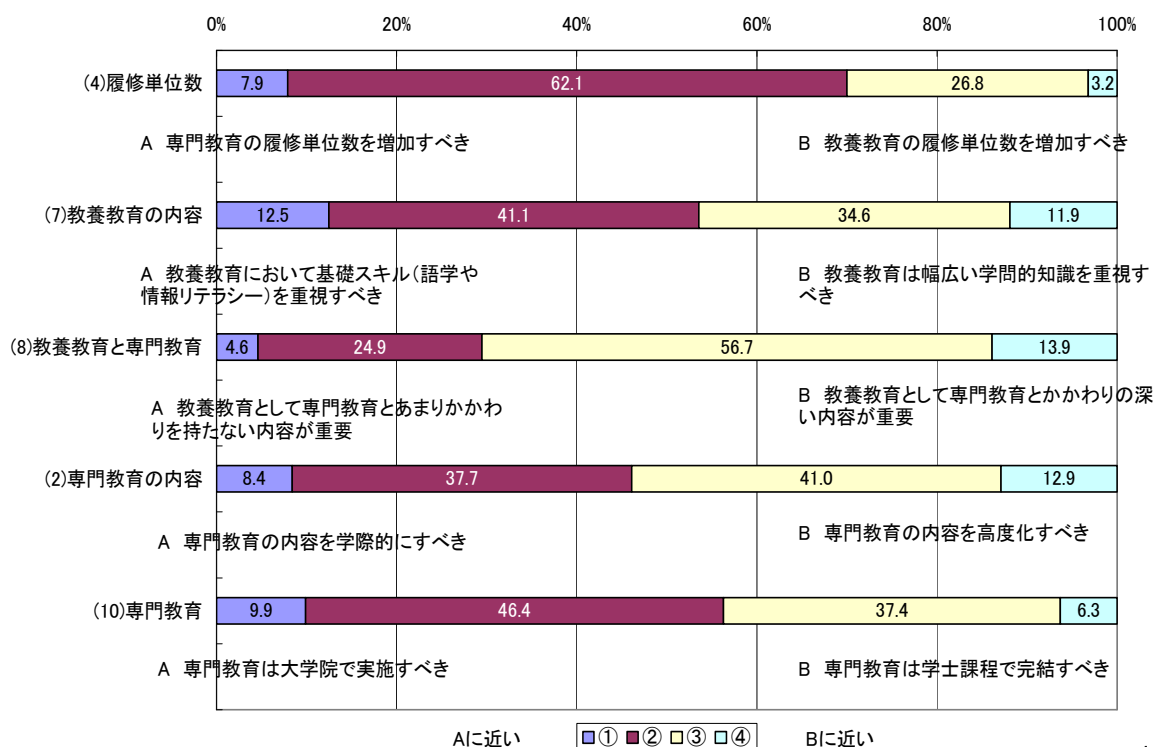
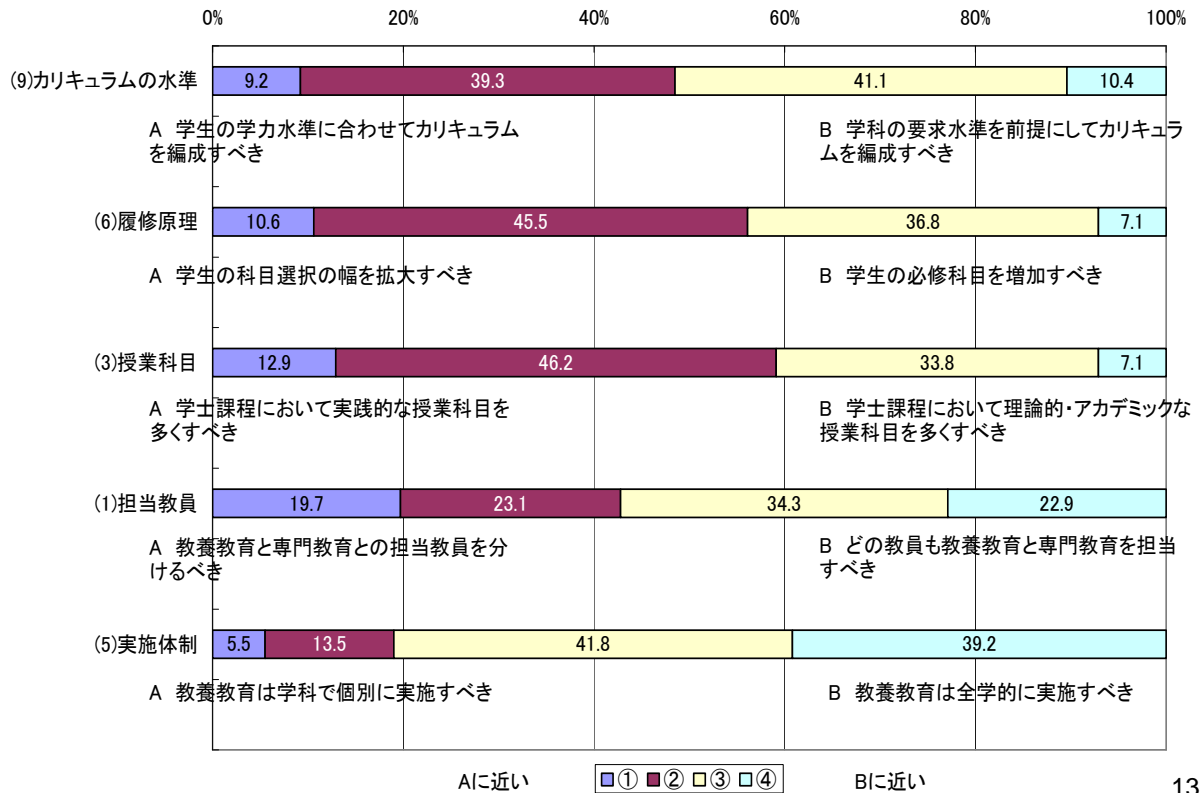


図8. カリキュラムの今後に対する考え方
(カリキュラム編成と実施組織)



13

3. “学びのイノベーション”の現状とその促進(1)

- ・学習成果のシラバスでの明示、15週確保など表面的な基盤整備は進んだ(図9)→形式は整った
- ・実質的な教育・学習の構造化は前に進んでいない(図9)、専門分野差も大きい(図10)

Ex. CAP制、カリキュラムマップは実質化せず
→学習しない学生

→教授過程、学習過程のマネジメントが不可欠

3. “学びのイノベーション”の現状とその促進(2)

- ・教育方法としては、Active Learning、経験学習重視という方向性(例: High Impact Practice)が注目されているが、学習スキルを含めた初年次教育、キャリア教育の普及は進んだが(図11)、導入状況の類型ごとの差(専門分野、規模、学力)は大きい(表5、6)
- ・学習成果に効果があるとはいえ、学外での「経験学習プログラム」はまだ導入は少ない→教員任せでは進まない?
- 教育方法の改善を今後も促進していく必要性: **ポストGP**
- 教授過程、学習過程の目標設定から体系的に自律的改革の促進(高等教育版“学びのイノベーション”?)
- ガバナンス改革は“学びのイノベーション”と車の両輪(大学の属性による違いを考慮した改革を)

15

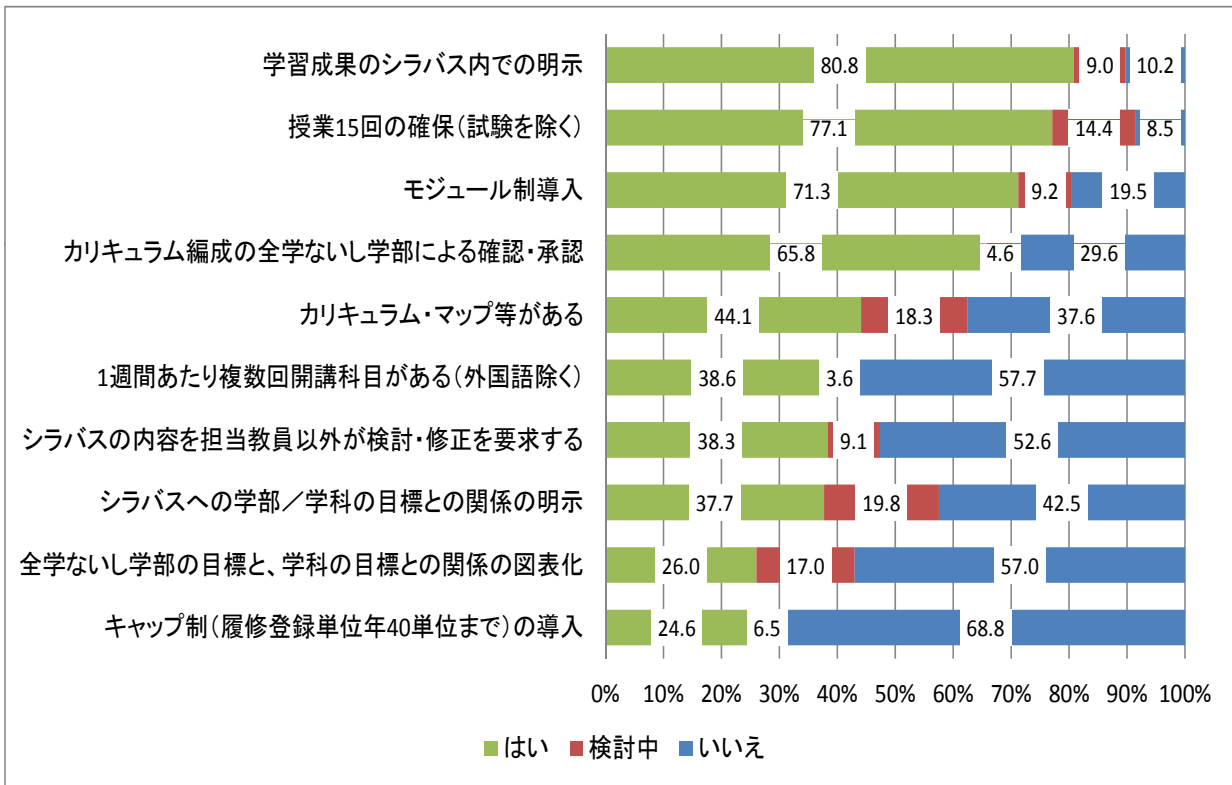
参考: *High Impact Practices*

by George D. Kuh (AAC&U, 2008)

- First-Year Seminars and Experiences
- Common Intellectual Experiences
- Learning Communities
- Writing-Intensive Courses
- Collaborative Assignments and Projects
- Undergraduate Research
- Diversity/Global Learning
- Service Learning, Community-Based Learning
- Internships
- Capstone Courses and Projects

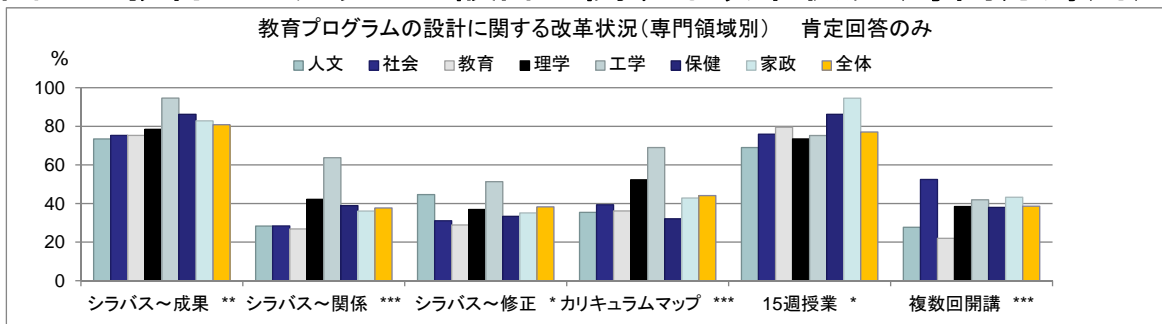
16

図9. 教育プログラムの設計に関する改革の状況



17

図10. 教育プログラムの設計に関する改革状況(専門分野別)

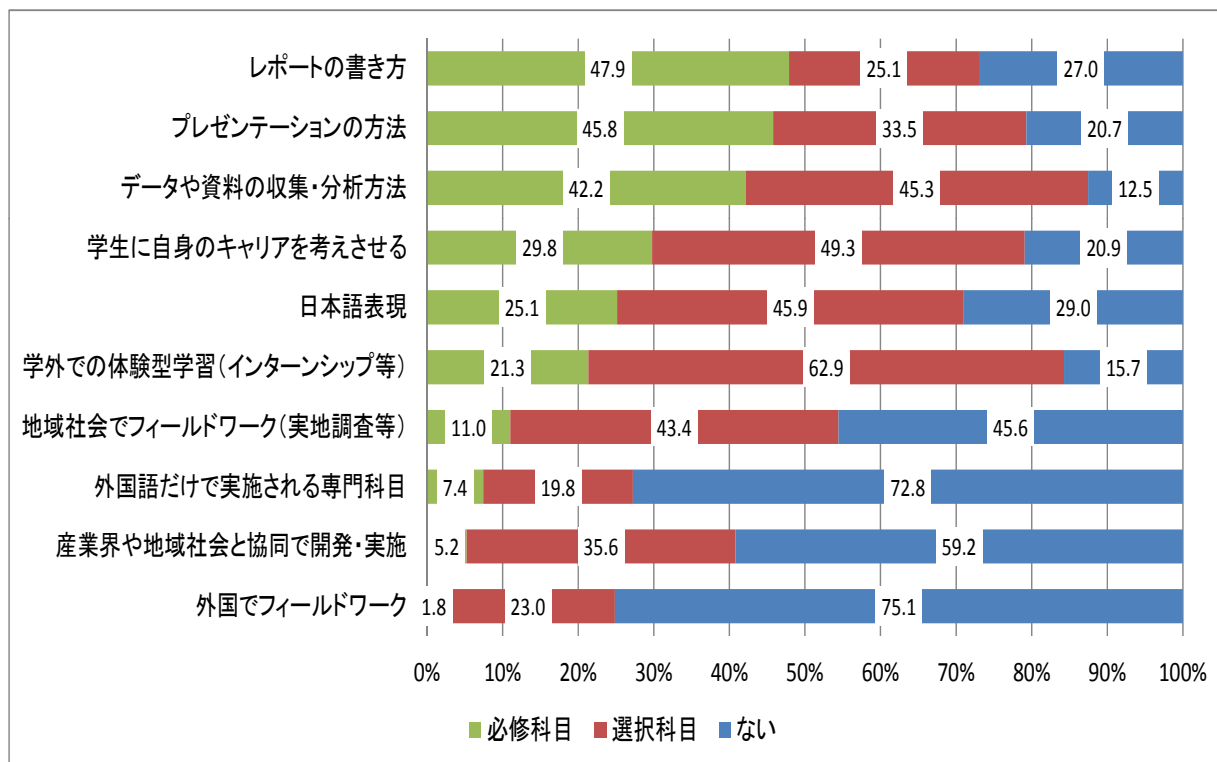


	q3a1 シラバス～成果 **			q3a2 シラバス～関係 ***			q3a3 シラバス～修正 *		
	いいえ	検討中	はい	いいえ	検討中	はい	いいえ	検討中	はい
人文	14.2%	12.4%	73.5%	46.0%	25.7%	28.3%	44.6%	10.7%	44.6%
社会	11.7%	13.0%	75.3%	46.9%	24.7%	28.4%	57.8%	11.2%	31.1%
教育	13.6%	11.1%	75.3%	54.9%	18.3%	26.8%	66.3%	4.8%	28.9%
理学	18.5%	3.1%	78.5%	48.4%	9.4%	42.2%	55.4%	7.7%	36.9%
工学	2.7%	2.7%	94.6%	20.4%	15.9%	63.7%	39.8%	8.8%	51.3%
保健	4.6%	9.2%	86.2%	39.8%	21.3%	38.9%	57.4%	9.3%	33.3%
家政	5.7%	11.4%	82.9%	44.4%	19.4%	36.1%	54.1%	10.8%	35.1%
全体	10.2%	9.0%	80.8%	42.5%	19.8%	37.7%	52.6%	9.1%	38.3%

	q3a5 カリキュラムマップ ***			q3a7 15週授業 *			q3a8 複数回開講 ***		
	いいえ	検討中	はい	いいえ	検討中	はい	いいえ	検討中	はい
人文	45.1%	19.5%	35.4%	13.3%	17.7%	69.0%	66.1%	6.3%	27.7%
社会	45.0%	15.6%	39.4%	7.4%	16.7%	75.9%	42.0%	5.6%	52.5%
教育	37.3%	26.5%	36.1%	8.4%	12.0%	79.5%	78.0%	0.0%	22.0%
理学	33.8%	13.8%	52.3%	10.9%	15.6%	73.4%	60.0%	1.5%	38.5%
工学	19.5%	11.5%	69.0%	7.1%	17.7%	75.2%	54.5%	3.6%	42.0%
保健	41.3%	26.6%	32.1%	7.3%	6.4%	86.2%	58.3%	3.7%	38.0%
家政	40.0%	17.1%	42.9%	5.4%	0.0%	94.6%	56.8%	0.0%	43.2%
全体	37.6%	18.3%	44.1%	8.5%	14.4%	77.1%	57.7%	3.6%	38.6%

18

図11. 新しい教育内容の採用状況



19

表4. 新しい教育内容の採用状況(専門分野別)

	日本語表現 ***			キャリア ***			データ分析 ***			体験型学習 ***		
	ない	選択科目	必修科目	ない	選択科目	必修科目	ない	選択科目	必修科目	ない	選択科目	必修科目
人文	13.3%	44.2%	42.5%	16.8%	51.3%	31.9%	15.5%	45.5%	39.1%	15.8%	70.2%	14.0%
社会	29.5%	46.8%	23.7%	12.5%	58.1%	29.4%	7.5%	57.2%	35.2%	11.2%	77.6%	11.2%
教育	28.8%	43.8%	27.5%	18.3%	40.2%	41.5%	6.3%	56.3%	37.5%	11.1%	64.2%	24.7%
理学	47.6%	41.3%	11.1%	36.5%	47.6%	15.9%	21.0%	45.2%	33.9%	39.7%	54.0%	6.3%
工学	34.2%	48.6%	17.1%	26.1%	54.1%	19.8%	25.0%	33.3%	41.7%	15.3%	71.2%	13.5%
保健	29.2%	47.2%	23.6%	28.4%	40.4%	31.2%	6.5%	36.1%	57.4%	14.8%	30.6%	54.6%
家政	27.0%	51.4%	21.6%	11.1%	41.7%	47.2%	8.1%	35.1%	56.8%	16.7%	47.2%	36.1%
	地域と共同 ***			外国語のみ ***			実地調査 ***			外国調査 ***		
	ない	選択科目	必修科目	ない	選択科目	必修科目	ない	選択科目	必修科目	ない	選択科目	必修科目
人文	62.3%	30.7%	7.0%	53.6%	30.4%	16.1%	32.1%	53.6%	14.3%	60.2%	35.4%	4.4%
社会	41.3%	54.4%	4.4%	67.9%	24.1%	8.0%	41.0%	52.8%	6.2%	74.1%	24.1%	1.9%
教育	59.3%	34.6%	6.2%	70.0%	25.0%	5.0%	33.7%	54.2%	12.0%	67.9%	32.1%	.0%
理学	73.4%	26.6%	.0%	78.1%	14.1%	7.8%	66.7%	25.4%	7.9%	95.3%	4.7%	.0%
工学	70.1%	27.1%	2.8%	77.7%	17.0%	5.4%	74.1%	24.1%	1.9%	91.6%	8.4%	.0%
保健	65.7%	26.9%	7.4%	88.0%	8.3%	3.7%	36.1%	38.0%	25.9%	71.0%	24.3%	4.7%
家政	66.7%	16.7%	16.7%	86.1%	8.3%	5.6%	50.0%	38.9%	11.1%	77.8%	22.2%	.0%

20

表5. 教育内容の採用状況(規模、学力別)

	日本語表現 **			レポート *			体験型学習 **		
	ない	選択科目	必修科目	ない	選択科目	必修科目	ない	選択科目	必修科目
単科	26.0	49.0	25.0	30.5	28.6	41.0	10.5	56.2	33.3
中規模(2~4)	23.1	45.5	31.4	24.6	19.8	55.6	12.3	65.3	22.4
大規模	34.5	45.6	19.9	28.5	28.2	43.3	19.4	64.1	16.5
全体	29.0	45.9	25.1	27.0	25.1	47.9	15.7	62.9	21.3

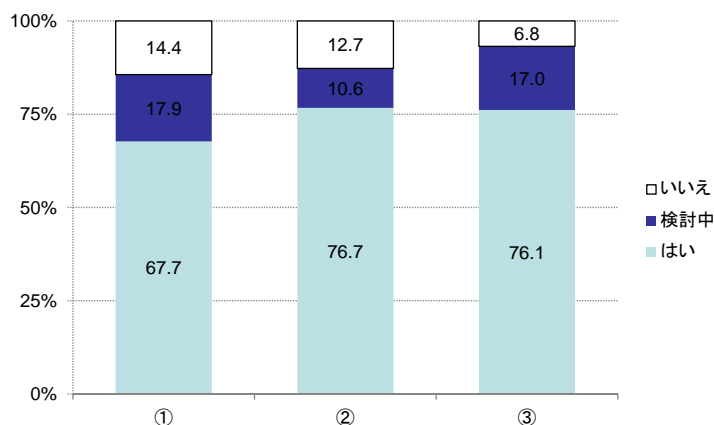
	日本語表現 ***			キャリア ***			体験型学習 **			外国語のみ ***		
	ない	選択科目	必修科目	ない	選択科目	必修科目	ない	選択科目	必修科目	ない	選択科目	必修科目
学力低め	17.8	50.8	31.5	18.5	49.5	32.0	11.5	68.0	20.5	84.0	10.0	6.0
学力普通	27.0	47.1	25.9	16.0	55.1	28.9	13.7	64.9	21.4	70.1	21.5	8.4
学力高め	43.6	39.9	16.5	33.2	41.2	25.7	23.3	51.9	24.9	64.7	26.3	8.9
全体	29.0	45.9	25.1	20.9	49.3	29.8	15.7	62.9	21.3	72.8	19.8	7.4

残差分析の結果、赤字=割合が高い項目、青字=割合が低い項目 *** p<.001, ** p<.01, * p<.05

21

参考資料1. 教育プログラム設計についての、 学部の教育・学習目標の記述様式別分析(1)

(1) シラバスに、期待される学習成果が明示されている

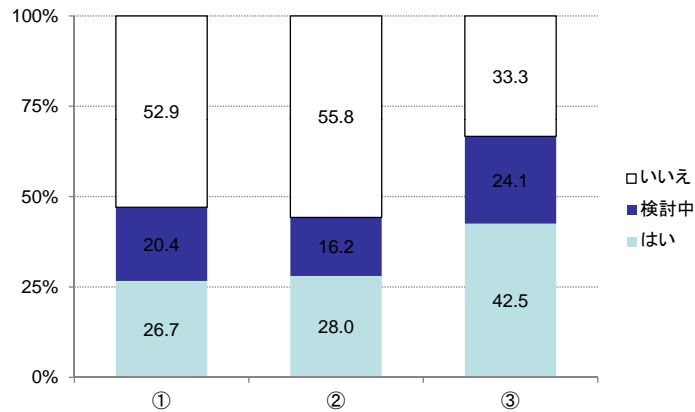


学部の教育・学習目標(ディプロマポリシー)の記述様式

- ① 提供者(教員)の立場から定義 (例: 専門の学問を教授する) (N=257)
- ② 学習者(学生)の立場から定義 (例: 専門の学問を身に付ける) (N=322)
- ③ 学習者(学生)の立場から、行動目標を定義 (例: ~学の基礎理論を説明することが出来る) (N=88)

参考資料2. 教育プログラム設計についての、 学部の教育・学習目標の記述様式別分析(2)

(2) シラバスに当該授業科目と、学部ないし学科の目標との関係が明示されている



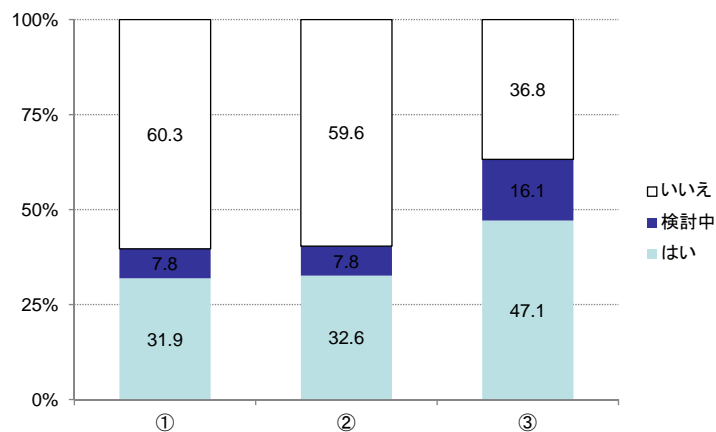
学部の教育・学習目標（ディプロマポリシー）の記述様式

- ① 提供者(教員)の立場から定義（例：専門の学問を教授する）(N=255)
- ② 学習者(学生)の立場から定義（例：専門の学問を身に付ける）(N=321)
- ③ 学習者(学生)の立場から、行動目標を定義（例：～学の基礎理論を説明することが出来る）(N=87)

23

参考資料3. 教育プログラム設計についての、 学部の教育・学習目標の記述様式別分析(3)

(3) シラバスの内容について、授業担当者以外が検討し、修正を求めることがある



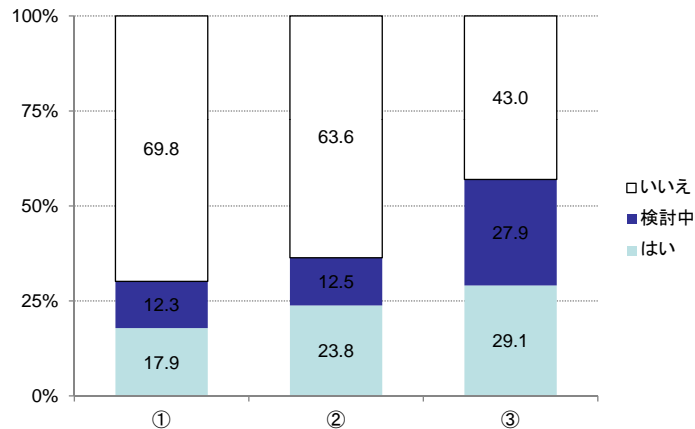
学部の教育・学習目標（ディプロマポリシー）の記述様式

- ① 提供者(教員)の立場から定義（例：専門の学問を教授する）(N=257)
- ② 学習者(学生)の立場から定義（例：専門の学問を身に付ける）(N=322)
- ③ 学習者(学生)の立場から、行動目標を定義（例：～学の基礎理論を説明することが出来る）(N=87)

24

参考資料4. 教育プログラム設計についての、 学部の教育・学習目標の記述様式別分析(4)

(4) 全学ないし学部の目標と、学科の目標との関係を図式化した資料がある



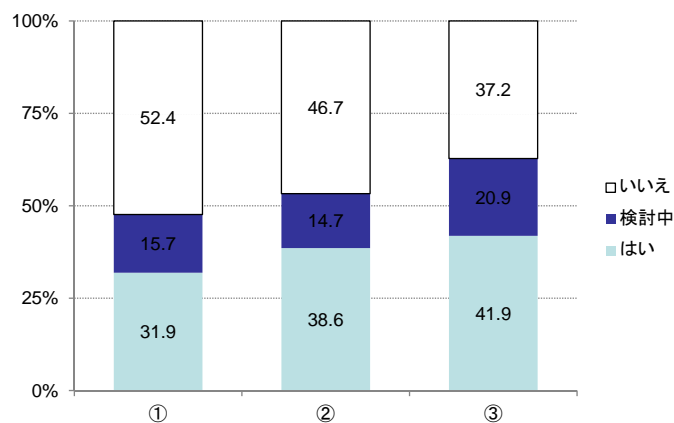
学部の教育・学習目標（ディプロマポリシー）の記述様式

- ① 提供者（教員）の立場から定義（例：専門の学問を教授する）（N=252）
- ② 学習者（学生）の立場から定義（例：専門の学問を身に付ける）（N=319）
- ③ 学習者（学生）の立場から、行動目標を定義（例：～学の基礎理論を説明することが出来る）（N=86）

25

参考資料5. 教育プログラム設計についての、 学部の教育・学習目標の記述様式別分析(5)

(5) 学科の目標と、各授業科目との関係を図式化した資料がある



学部の教育・学習目標（ディプロマポリシー）の記述様式

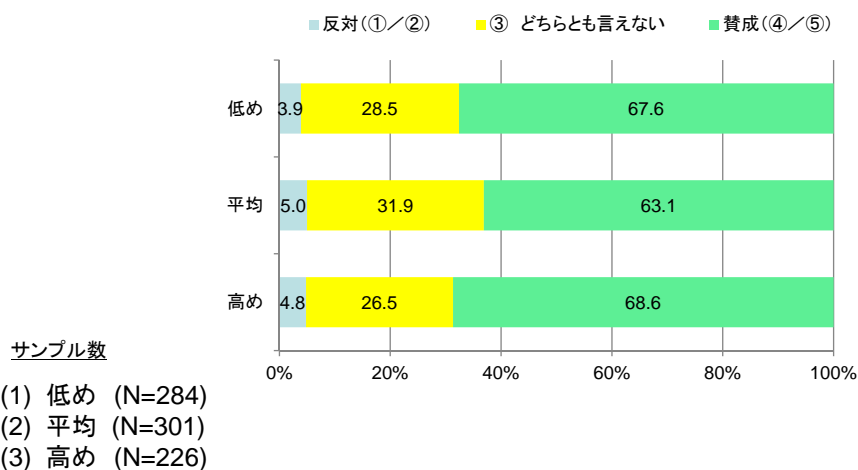
- ① 提供者（教員）の立場から定義（例：専門の学問を教授する）（N=254）
- ② 学習者（学生）の立場から定義（例：専門の学問を身に付ける）（N=319）
- ③ 学習者（学生）の立場から、行動目標を定義（例：～学の基礎理論を説明することが出来る）（N=86）

26

参考資料6. 近年の改革動向に対する意見(1)

(1) 専門分野別コア・カリキュラムの開発 (学力別)

(反対) ①……②……③(どちらとも言えない)……④……⑤(賛成) のスケールの回答

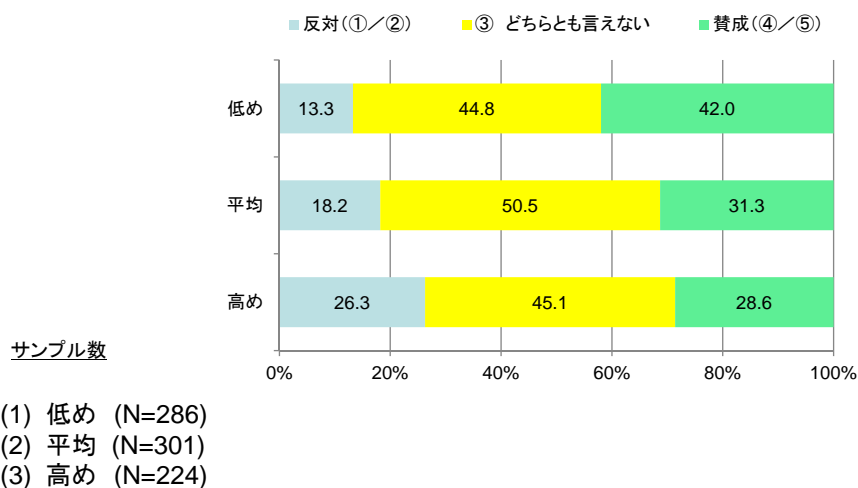


27

参考資料7. 近年の改革動向に対する意見

(2) 専門分野別に汎用的能力を測る客観テストの開発 (学力別)

(反対) ①……②……③(どちらとも言えない)……④……⑤(賛成) のスケールの回答

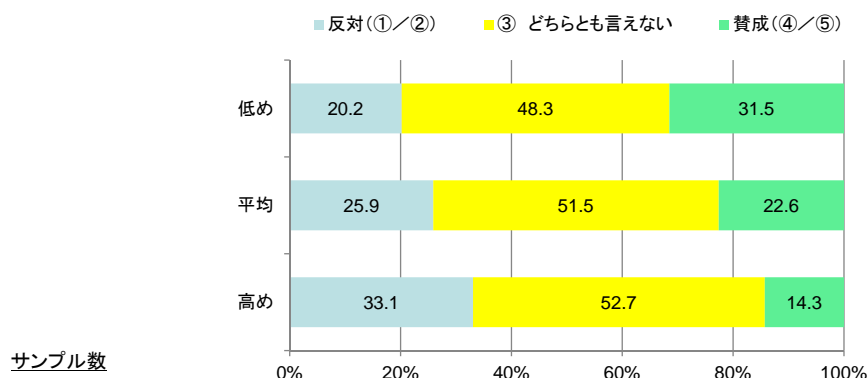


28

参考資料8. 近年の改革動向に対するお考えについて

(3) 専門分野を超えた共通の様式で汎用的能力を測る客観テストの開発 (学力別)

(反対) ①……②……③(どちらとも言えない)……④……⑤(賛成) のスケールの回答



- (1) 低め (N=286)
- (2) 平均 (N=301)
- (3) 高め (N=224)

29

資料

出典

- ・日本私立大学協会付置 私学高等教育研究所
『第2回 学士課程教育の改革状況と現状認識に関する調査』報告書, 2011. 8
- ・濱名 篤「学士課程教育のこれからの課題は何か」私学高等教育研究所公開研究会 配布資料, 2010. 4. 19。
【スライド20枚目以降】

参考資料

- ・串本剛「大学の教育目標」日本経済新聞2011. 7. 14朝刊
- ・杉谷祐美子「分極化するカリキュラムの志向性」教育学術新聞 2011. 8. 24
- ・濱名 篤「学士課程の共通教育の見直し急務」リクルートカレッジマネジメント170, 2011

30